

<公開フォーラム@ Tokyo>

# 患者と医療者のための医薬品情報 ～くすりの適正使用に向けたChoosing Wisely～

Choosing Wiselyは、医療者と患者との対話を通じて、科学的な裏づけ(エビデンス)があり、患者にとって真に必要で、かつ副作用の少ない医療(検査、治療、処置)を「賢明に選択」することをめざす国際的なキャンペーン活動です。英国を含む諸外国の取り組みに学びつつ、患者と医療者の協働的意思決定(shared decision making)を促進する医薬品情報のあり方を考えます。

日時 : 2019年5月19日(日)

13:30~16:30 (13:00開場)

場所 : 東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター1階

国際会議室 (東京都港区芝浦3-3-6)

URL : <http://www.cictokyo.jp/>

予約不要、入場無料

プログラム(敬称略) :

はじめに	徳田 安春(Choosing Wisely Japan)
Overuse of Healthcare Resources	Iona Heath(Past President, RCGP, U.K.)
患者向け医薬品情報と薬剤師の役割	森 和彦(厚生労働省)
研究班報告(山本班)	山本 美智子(熊本大学)
	佐藤 嗣道(東京理科大学)
研究班紹介(北澤班)	北澤 京子(京都薬科大学)
討論	(司会) 小泉 俊三(Choosing Wisely Japan)
	山本美智子

問合せ : Choosing Wisely Japan  
([choosingwiselyjapan@gmail.com](mailto:choosingwiselyjapan@gmail.com))



主催 : AMED 医薬品等規制調和・評価研究事業「患者・消費者向けの医薬品等情報の提供のあり方に関する研究」班/ 研究代表者 山本美智子

共催 : 厚生労働行政推進調査事業「診療ガイドラインへの「Choosing Wisely」の導入に向けた研究」班/ 研究代表者 北澤京子

Choosing Wisely Japan

後援 : 医療の質・安全学会「過剰医療とChoosing Wiselyキャンペーン」ワーキンググループ